Ver 1.0.3

駐車監視モード 当て逃げ、車上荒らしやいたずらを監視します。
microSDカードフォーマット機能 フォーマット機能は本体に内蔵。
アイドリングストップシステム装着車対応

取扱説明書

WHSR-331【1CH 前方カメラ】
WHSR-332【2CH 前方カメラ・後方カメラ】

カーライフのあらゆるシーンを、スマートに記録。

Smart Reco

New Standard of Smart Car Life

1. 目次

1. 目次 (2)
2. 禁止事項 (3)
3. 製品使用前の注意事項 (5)
4. 本体及び付属品 (7)
5. 各端子別ピンの配列 (8)
6. 製品案内 (9)
7. 各部位の名称及び機能 (10)
8. 本体の操作方法 (11)
9. 製品機能の説明 (14)
10. 取り付け時の注意事項 (15)
11. 取り付け手順 (16)
12. 後方カメラの取り付け手順 (17)
13. 液晶タッチパネル画面の説明 (18)
14. 専用ビューアーをインストールする (28)
15. 専用ビューアーの実行及び削除 (30)
16. 専用ビューアーメイン画面の説明 (31)
17. ビューアーボタンの説明 (32)
18. プレイリスト作成とSDカードのフォーマット (35)
19. ファイルを指定して再生する (38)
20. 本体の環境設定 (39)
21. microSDカードの保存データ (44)
22. 運行記録 (45)
23. 全画面表示 (47)
24. 録画ファイル情報表示 (48)
25. 保存可能ファイル数(2チャンネル) (49)
26. 保存可能ファイル数(1チャンネル) (51)
27. 保存可能ファイル数(最大録画時間) (53)
28. 専用ビューアーのアップデート (54)
29. ファームウェアのアップデート (55)
30. 製品仕様 (57)
31. よくあるご質問 (58)

保証書

2. 禁止事項

⚠警告	この表示の欄は、『死亡または重傷などを負う恐れがある』内容です。	⚠注意	この表示の欄は、『損傷または物的損害が発生する恐れがある』内容です。

⚠警告

- **運転中に操作をしないで下さい。**
  事故やけがの原因となります。操作やmicroSDカードの抜き挿しは、必ず安全な場所に車両を停車させて行って下さい。
- **分解、修理及び改造をしないで下さい。**
  修理やサービスは必ず近くの販売店へご依頼下さい。
- **水に濡れた場合、本製品を絶対に熱器具（電子レンジ、ドライヤー等）で乾燥させないで下さい。**
  爆発や変形、故障の原因となります。
- **濡れた手で触らないで下さい。**
  火災、感電、故障の原因となります。
- **コードを挟んだり切ったりしないで下さい。**
  通信異常の原因になるだけでなく、断線やショートにより火災、感電、故障の原因となります。
- **機器内部に異物を入れないで下さい。**
  故障や火災、感電等の原因となります。特に、乳幼児にご注意下さい。
- **運転の視界の妨げになる場所に絶対に取り付けないで下さい。**
  事故やけがの原因となります。
- **エアバックの妨げになる場所に絶対に取り付けないで下さい。**
  エアバックが正常に作動しなかったり、作動したエアバックで本製品が飛ばされ、事故やけがの原因となります。
- **本製品を故障や異常のまま使用しないで下さい。**
  万一、故障や異常が発生した場合は、ただちに使用を中止し、お近くの販売店にご相談下さい。そのまま使用を続けると、事故や火災、感電の原因となります。
- **microSDカードは乳幼児の手の届かないところに保管して下さい。**
- **本製品は外れたり、落下しないようにしっかり取り付けて下さい。**
  固定が弱いと、走行中に外れる、落下する等、事故やけがの原因となります。また、振動により性能が低下する可能性があります。
- **本製品は洗浄しないで下さい。**
  化学物質（ベンジン・シンナー・アルコール類など）は使用しないで下さい。爆発や火災が発生する可能性があります。お手入れする場合は、電源コードを本体から抜き、電源OFF状態になったことを確認後、水を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いた後、乾拭きします。

2. 禁止事項

⚠注意

- エンジンを止めた状態(駐車監視モード)で、本製品を長時間(約24時間以上)使用しないで下さい。
  車両を長時間使用しない場合は、駐車監視スイッチをOFFにするか、電源スイッチをOFFにして下さい。電源自動遮断機能が働いてもエンジン始動が困難になる可能性があります。また、電源自動遮断機能が働くと、画像が記録されません。
- 本製品を落下させたり、強い衝撃を与えないで下さい。
- 炎天下や高温または極寒になる場所に長時間放置しないで下さい。
  本体の温度が動作温度(−20〜70℃)外になりますと、本体の機能が正常に作動しなくなります。また、サンシェードとフロントガラスの間に本体があると、本体が高温になり、正常に作動しなくなる場合があります。一部車種でサンバイザー・サンシェードと本体・後方カメラが干渉する場合があります。その場合、サンバイザー・サンシェード等の使用を控えるか、撮影に影響のない範囲で使用して下さい。
- ケーブル・コード類は運転や乗り降りの妨げにならないように配線して下さい。
- 本製品はオフロード等の舗装されていない道路を走行する車両や競技車両には使用できません。
- 本製品で記録した映像は個人で楽しむ目的以外では、著作権法・個人情報保護法上などの規則のため、無断で使用する事はできません。また、使用方法によって被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合があります。
- 本製品は事故を防止する装置ではありません。また、状況によっては画像ファイルが記録されない場合があります。
- 本製品を取り付けたガラスは常にきれいにして下さい。
  汚れている場合は、正常な走行映像を記録する事ができませんので、ご注意下さい。
- 車両のガラス面に光が反射して、映像の品質が著しく低下する可能性があります。
- 着色ガラスやカーフィルムの濃度により、画質が低下する可能性(特に夜間)があります。本製品取付後に撮影テストを行い、映像品質を必ずご確認後ご使用下さい。
- LED式信号機は目に見えない高速で点滅しているため、正確に撮影されない場合があります。信号で判断できない場合は、前後の映像や周辺の車両状況から判断して下さい。
- 撮影する状況によって、まれに記録映像が乱れる場合があります。
- 本体の自己診断機能により、電源をONにしてから起動するまでに約1分の時間を要します。本体が起動するまでは映像が記録されませんので、本体が起動したことを確認してから、車を運転して下さい。

3. 製品使用前の注意事項

◆ 保証と責任の範囲

- ✓ 本製品は安全運転のための補助装置です。本製品の故障による損害、データの損失による損害、その他本製品を使用する事により発生した損害に対して弊社では一切の責任を負いません。
- ✓ 重要な画像を録画した場合、ファイル消失を防ぐために、microSDカードを本体から取り外し大切に保管して下さい。
- ✓ 本製品は車の外部映像を録画/保存することを目的とした装置ですが、予期せぬ事由により、映像が再生されないファイルが発生する可能性もあります。
- ✓ 本製品を分解、修理及び改造等をした場合の故障及び事故に対して弊社では一切の責任を負いません。
- ✓ 不適切な使用方法、取り付けによる故障及び事故に対して弊社では一切の責任を負いません。
- ✓ 本製品並びに取扱説明書は品質向上のため、予告なしに変更または修正される場合があります。
- ✓ 経年変化や、使用状況によってはバックアップ機能が作動しない場合があります。
- ✓ 本製品に対する全てのソフトウェアおよびハードウェアの著作権は弊社に帰属します。本製品に関する著作権及び知的財産権を無断で使用、複製、加工、配布することは絶対におやめ下さい。
- ✓ 本製品は安全運転のための補助装置です。事故の検証に役立つことも目的の一つですが、完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
- ✓ 衝撃が発生した時の映像が記録されなかった場合や記録されたデータが破損していた場合の損害、本製品の故障や本製品の使用によって生じた損害について、弊社では一切の責任を負いません。
- ✓ 本書に記載されている事項に従わずに使用し、事故や故障が発生した場合、弊社では一切の責任を負いません。
- ✓ 本製品をいたずら、及び他人の迷惑になる行為に使用しないで下さい。また、本来の使用目的以外の用途では絶対に使用しないで下さい。弊社では一切の責任を負いません。
- ✓ コンピューター本体の性能により一部ビューアーが正常に再生されない場合があります。映像再生がスムーズに行えるスペックが必要です。
- ✓ 地図の表示にはインターネットに接続できる環境が必要です。
- ✓ 本製品のご使用前に、必ず取扱説明書の記載事項をご確認いただき安全にご使用下さい。
  また、本書はいつでも見られるところに必ず保管して下さい。

3. 製品使用前の注意事項

◆ microSDカード使用時の注意事項

- ✓ microSDカードの抜き挿しは、必ず本体の電源が切れていることを確認してから行って下さい。
  電源が入っている時にmicroSDカードの抜き挿しを行うと、microSDカードが破損するだけでなく、本製品が故障する恐れがあります。
  microSDカードへのデータ書き込み中（LEDランプ点灯中）は、絶対にmicroSDカードを抜かないで下さい。microSDカードが破損するだけでなく、本製品が故障する恐れがあります。microSDカードを抜く場合は、本体の電源をOFFにし、必ず本製品の全てのランプが消灯したことを確認してから行って下さい。
- ✓ ファイル保存中に電源が切断された場合、バックアップ機能を利用して最後のファイルを保存している間、LEDが暫く点滅します。LED点滅中はmicroSDカードを本体から抜かないで下さい。
- ✓ 本体を使用する前に、microSDカードに画像が保存されることを確認してから運用を開始して下さい。また、定期的にmicroSDカードを点検して下さい。
  microSDカードは必ず電源を切った状態で抜き挿しをして下さい。
- ✓ microSDカードには本製品で記録されるデータ以外は保存しないで下さい。
- ✓ 本製品が正常に作動しているか確認するために、1週間に一度は記録データの内容を確認して下さい。
- ✓ 本製品を安定して使用するために、少なくとも2週間に1回以上の頻度でmicroSDカードのフォーマットを行って下さい。
  フォーマットの方法は、「8. 本体の操作方法（フォーマットの手順）または「18. プレイリスト作成とカードのフォーマット（SDフォーマット）」をご参照下さい。
- ✓ 保存ファイルは定期的にバックアップをして下さい。
  保存容量を超過した場合、一番古いファイルから上書きされるため、定期的にバックアップし、必要なファイルが削除されないようにご注意下さい。
- ✓ 1CH⇒2CH、2CH⇒1CHに使用するチャンネル数を変更する場合は、現在使用中のmicroSDカードを必ずフォーマットして下さい。
- ✓ 必ず弊社の指定する純正microSDカードをご使用下さい。
  弊社指定microSDカード以外を使用されますと正常に録画されない場合があります。

microSDカードには一般的に寿命があるため、長期間使用すると新しいデータが録画されません。このような場合には新しいmicroSDカードをご使用下さい。
いかなる場合もデータの消滅に対して、弊社では一切の責任を負いませんのであらかじめご了承下さい。
microSDカードへ書き込み中に、カードを抜くと、最後のデータが記録されませんのでご注意下さい。これらの事象に対して弊社では一切の責任を負いません。事故映像等の重要なデータは、上書き防止のためmicroSDカードを即座に本体から抜いて別の場所で保管して下さい。複数のmicroSDカードを所有されることをお勧めします。

4. 本体及び付属品

本製品の購入後、本体及び付属品が全て揃っていることをすぐに確認して下さい。
万一、本体及び付属品に破損または異常がある場合は、直ちに本製品を購入した販売店にご連絡下さい。

基本構成

本体

microSDカード
※1

microSD
カードリーダー

電源
ケーブル
(駐車監視
スイッチ付)

GPS
モジュール

取扱説明書
&保証書

六角レンチ
(ステー用)
両面テープ(2枚)

タイラップ(10本)
クッションテープ(1枚)

オプション(別売)

後方カメラ※2

延長
ケーブル※2

シガー
電源ケーブル

上記の付属品は予告無く変更される場合があります。
(上記はイメージ画像ですので実物と大きさが異なります)
※1 専用ビューアーは、付属のmicroSDカードに保存されています。
※2 WHSR-332(2CH)では、後方カメラ及び延長ケーブルは標準装備となります。

5. 各端子別ピンの配列

端子の区分	端子のイメージ	ピン配列
電源ケーブル端子 (DC Jack)		①GND ②ACC ③BAT
後方カメラ 端子(2.5Φ)		①Cam Output (NTSC) ②VCC (5V) ③GND
GPSモジュール端子 (2.5Φ)		①VCC (3.6～6V DC) ②Rx ③GND ④Tx (GPS Signal Output)
後方カメラ 延長ケーブル端子 (3.5Φ)		①Cam Output (NTSC) ②VCC (5V) ③GND

6. 製品案内

◆ 製品紹介

本製品は前方・後方の映像及び音声を保存する自動車用ドライブレコーダーであり、車両の事故や衝撃を感知した際の前方映像 / 後方映像※1 / 室内音声を保存し、事故原因の分析を補助するデータを記録する製品です。
- 後方カメラを接続した場合、2チャンネル（前方及び後方※1）の記録が可能です。

◆ 主な機能

-常時保存：	本体の電源がONの時は、前方映像及び後方映像※1を1分単位でファイルを作成し、Blackboxフォルダに保存します。
-イベント保存：	設定した衝撃を感知した時点の前5秒・後15秒（合計20秒間）の映像をEventフォルダに保存します。
-強制保存：	残したい映像を強制的に20秒間、Eventフォルダに保存します。
-駐車監視保存：	駐車時にモーションを感知すると自動的に前5秒・後15秒（合計20秒間）の映像をParkingフォルダに保存します。 （シガー電源ケーブルを使用している場合は不可） 電源自動遮断機能：バッテリーを保護するため、予め設定された電圧値または時間で本体の電源を自動遮断します。 **（初期設定は6時間）**
-駐車衝撃保存：	駐車時に衝撃を感知すると衝撃の前5秒・後15秒（合計20秒間）をParkingEventフォルダに保存します （シガー電源ケーブルを使用している場合は不可）。 ※使用するmicroSDカードの容量に関わらず、500MB分のファイルが保存できます。
-イメージ保存：	常時録画中、液晶タッチパネル・メイン画面で[イメージ保存]アイコンをタッチすると前方/後方の画像（静止画）を保存します。
-バックアップ保存：	電源が切断された場合でも、バックアップ機能により最後のファイルを保存します。
-液晶タッチパネル：	320×240解像度の液晶タッチパネルが内蔵されています。本体の環境設定など作動状態の確認と変更ができます。また、録画中の映像や保存された映像を確認する事ができます。
-映像拡大機能：	ズーム機能を使用して保存した映像を拡大/縮小する事ができます。
-PIP機能：	本体の液晶タッチパネルで前方/後方の映像を同時に確認する事ができます。
-専用ビューアー：	コンピューターに専用ビューアーをインストールすることで、録画された映像を再生する事ができます。また、事故時の状況（加速度、速度、位置など）を確認できます。
-運行記録保存：	走行した日付/ 時間/ 走行距離が記録され、ビューアーを通じて走行ルートを追跡する事ができます。 地図の表示にはインターネットに接続できる環境が必要です。
-フォーマット機能：	microSDカードを本体でフォーマットする事ができます。

※1　WHSR-331(1CH)では、後方カメラはオプション（別売）となります。

7. 各部分の名称及び機能

8. 本体の操作方法（本体のON/OFF方法）

◆ 常時電源ケーブル使用の場合

電源スイッチ	駐車監視スイッチ	イグニッション・アクセサリー	使用できる機能
ON	ON	ON	常時録画・イベント録画
		OFF	駐車監視録画・駐車衝撃録画
	OFF	ON	常時録画・イベント録画 （駐車監視録画・駐車衝撃録画は使用できません。）
		OFF	本体の電源OFF
OFF	ON/OFF	ON/OFF	本体の電源OFF

◆ シガー電源ケーブル使用の場合

電源スイッチ	駐車監視スイッチ	イグニッション・アクセサリー	使用できる機能
ON	なし	ON	常時録画・イベント録画
		OFF	本体の電源OFF
OFF		ON/OFF	本体の電源OFF

microSDカードの挿入方法

microSDカードの挿入の向きに注意して下さい。
microSDカードはカチッと音がするまで挿入して下さい。
microSDカードが完全に挿入される前に手を放すと飛び出す恐れがありますので、取り扱いにはご注意下さい。

※本体の電源がOFFの時にmicro SDカードの抜き挿しを行って下さい。
電源が入っている時に抜き挿しを行うとmicroSDカード及び本体が故障する恐れがあります。

※駐車監視スイッチONの場合、スイッチ上部のLEDが緑色に点灯します。駐車監視スイッチのLEDは車両のエンジンが始動している時に確認して下さい。
イグニッションキーをOFFにするとLEDランプは消灯します。

8. 本体の操作方法(使用時のポイント)

本製品は、6つの記録方式を備えた多機能・高画質ドライブレコーダーです。

1. **常時録画**
   駐車監視スイッチのON・OFFに関わらず、アクセサリー電源がON(車両電源ON)になると起動し、運転中の映像を記録します。
   起動には一定の時間(1分程度)を要します。液晶タッチパネルで起動を確認してから運転して下さい。

2. **イベント録画**
   常時録画中に、予め設定してある値より大きな加速度を検知すると、前5秒・後15秒(合計20秒間)の映像をEventフォルダに記録します。

3. **強制録画**
   常時録画中に、液晶タッチパネル・メイン画面の[強制保存]アイコンをタッチすると、強制的にその時から前5秒・後15秒(合計20秒間)の映像をEventフォルダに記録します。

4. **駐車監視録画**
   駐車監視スイッチがONの時に、アクセサリー電源をOFFにすると(エンジンを止めてイグニッションをOFFにした時)、常時録画モードから駐車監視モードに切替わります。前方カメラ及び後方カメラが一定のモーション(動き)を感知すると、その時から前5秒・後15秒(合計20秒間)の映像をParkingフォルダに保存します。
   本製品は車のバッテリー電源を使用しているため、バッテリー電圧が設定値まで下がると、自動的に電源が遮断されます。ただし、車両自体が微量な電流を消耗しているため、そのまま放置するとエンジン始動が困難となる可能性があります。24時間以上お車を使用しない場合は、駐車監視スイッチをOFFにして下さい。
   また、バッテリーの状態により、長時間使用できない場合があります。
   詳しい内容は販売店スタッフへお問い合わせ下さい。【注意1】

5. **駐車衝撃録画**
   駐車監視スイッチがONの時に、アクセサリー電源をOFFにすると(エンジンを止めイグニッションをOFFにした時)、常時録画モードから駐車監視モードに切替わり、G(加速度)センサーが一定の衝撃を検知すると、その時から前5秒・後15秒(合計20秒間)の映像をParkingEventフォルダに最大500MB分まで保存します。
   ファイル名の最後に『A』が付きます。【注意1】

6. **イメージ保存**
   常時録画中に、液晶タッチパネル・メイン画面の[イメージ保存]アイコンをタッチすると、前方/後方のが画像(静止画)を記録します。

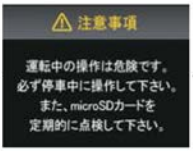
【注意1】シガー電源ケーブル使用時及び駐車監視スイッチがOFFの時は駐車監視・衝撃録画はご使用になれません。
「8. 本体操作方法」をご参照下さい。

8. 本体の操作方法(フォーマットの手順)

本体の液晶タッチパネルでmicroSDカードをフォーマットする

※フォーマットするとmicroSDカードに保存されている専用ビューアーが消去されますので予めコンピューターにビューアーを保存して下さい。
※フォーマットすると保存された映像は全て消去されます。

起動画面

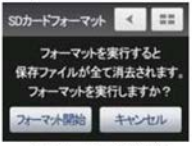


常時録画画面
画面をタッチ

[メニュー]
をタッチ

[システム設定]
をタッチ

[SDカードフォーマット]
をタッチ



[フォーマット開始]
をタッチ

フォーマット中画面

フォーマット完了画面

1. エンジンを始動して本体を起動させます。
2. 常時録画画面が表示され、本体の起動が確認できたら、画面をタッチし、“メニュー→システム設定→SDカードフォーマット”の順にタッチします。
3. “SDカードフォーマット”画面で[フォーマット開始]ボタンをタッチするとフォーマットが始まります。フォーマットが完了するとフォーマットに要した時間とフォーマットされた容量が表示され、自動的に再起動します。

microSDカードは定期的なフォーマットが必要です。少なくとも2週間に1回はフォーマットをして下さい。

9. 製品機能の説明

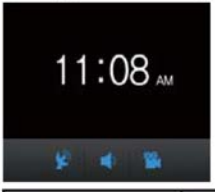
◆ 機能説明

動作	操作	状況	ブザー音	LED 表示
起動	電源ON (イグニッションON)	セルフチェックを行う	長いブザー音 1回 ※1	青色のLEDが点灯 (本体起動までに1分程度要します)
駐車 監視 保存	駐車監視スイッチ をONにして エンジンを切る	駐車中、モーションを 感知すると前5秒・後15秒、 合計20秒間の映像を Parkingフォルダに記録する (常時電源接続時のみ利用可)	–	駐車監視時:青色のLEDが点滅 録画時:青色のLEDが早く点滅
駐車 衝撃 保存	駐車監視スイッチ をONにして エンジンを切る	駐車中、衝撃を 感知すると前5秒・後15秒、 合計20秒間の映像を ParkingEventフォルダに記録する (常時電源接続時のみ利用可)	–	駐車監視時:青色のLEDが点滅 録画時:青色のLEDが早く点滅
電源OFF	電源スイッチを OFFにする	最新映像を保存 した後、電源OFF	–	全てのLEDが消灯

※1 駐車監視中に衝撃を感知し、駐車イベントファイルが作成された場合、長いブザー音が2回鳴ります。

※ その他の機能は、「13. 液晶タッチパネル画面の説明」をご確認下さい。

◆ スクリーンセーバー(時計画面)のアイコンの説明



アイコン	状況	アイコン	状況
青色 アイコン	GPS受信中	灰色 アイコン	GPS未受信
青色 アイコン	音声録音ON	灰色 アイコン	音声録音OFF
灰色 アイコン	常時保存中	青色 アイコン	イベント保存中

10. 取り付け時の注意事項

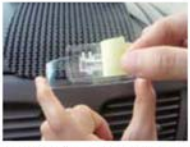
- ◆ 本製品を取り付ける際には、本体及び付属品が全て揃っていることを確認し、取り付け方法を確認した上で、所定の手順に従って取り付けて下さい。取り付けに分解整備を伴う場合や車両ハーネスから直接電源を供給する場合は必ず自動車整備認証工場または指定工場で行って下さい。(シガー電源ケーブルを使用する場合は除く)。
- ◆ 取り付け作業は、できる限り水平な場所で、必ずバッテリーのマイナス端子を外した状態で行って下さい。
- ◆ 本製品は、運転者の視界の妨げにならない位置に取り付けて下さい。※ルームミラー裏側に設置することをお勧めします。
「審査事務規定第5章5-47」により、フロントガラス上縁からガラス実長の20%以内の範囲にカメラを貼り付けることで車検に適合します。
- ◆ SRS(エアバック)等、車両の安全装置や、その他の装置に影響が出る場所に絶対に設置しないで下さい。
- ◆ ガラスの塗装部分及び熱線などは避けて取り付けて下さい。脱着時に塗装部分及び熱線が剥がれる恐れがあります。
- ◆ 後方カメラを接続する場合は、必ず本体の電源端子から電源ケーブル端子を取り外した状態で行って下さい。
- ◆ 本製品を取り付けたフロントガラスは常にきれいにして下さい。
- ◆ 後方カメラをリアガラスに取り付ける場合、カーフィルムや熱線によって画質が低下する可能性がありますのでご注意下さい。
- ◆ 設置場所の明るさや、ガラスの反射等により、映像品質が落ちる場合があります。取り付け後に撮影テストを行い、映像品質に問題が出ない場所に設置して下さい。
- ◆ 製品本体や後方カメラ・GPSモジュールは他の電波を利用した製品に影響がない場所へ取り付けて下さい。
電波を利用した製品の例:GPS・ETC・VICS・レーダー探知機・テレビ・ラジオ・電話等。場合によっては同時装着が出来ない場合もありますのでご注意下さい。
また、GPSは微弱な電波を受信しており、電波を遮る障害物にも影響を受けます。状況に応じて、GPSアンテナの設置場所を選択して下さい。
- ◆ 本製品のGPSモジュールはカーナビゲーションのGPSアンテナと50cm以上距離を離して取り付けて下さい。
電波障害によりカーナビゲーションが正しく表示されない場合があります。電波障害が起きた場合は、本製品のGPSモジュールの取り付け位置を調整し、本製品の電源ケーブルを電源端子から取り外し、再度接続して下さい。
- ◆ 電波障害により、テレビが受信できなくなる場合があります。
この場合、テレビの使用を中止して下さい。

11. 取り付け手順

1

取り付け位置を決定し、フロントガラスをきれいにします。

2



取付けステーの接着テープ保護フィルムを取り外します。

3

視界の妨げにならない位置に取り付けます。また、サンバイザーやSRS(エアバッグ等)に影響の無い場所を選んで下さい。

4

GPS端子を接続します。
後方カメラ端子を接続します。
最後に電源ケーブル端子を接続します。
(後方カメラの設置に関しては次のページをご覧下さい。)

5

電源の接続は自動車整備認証工場または指定工場で行って下さい。
(シガー電源ケーブルを使用する場合は除く)
-黒色:GND -黄色:B/T -赤色:ACC

電源ケーブルと駐車監視スイッチは4ピンコネクタで接続します。スイッチ側のコンタクトピンは、配線の作業効率を上げるため、コネクタに差し込まれていません。
車両に配線を取り回し、スイッチを所定の場所に設置した後、コンタクトピンをコネクタに差し込んで下さい。

上図は、カプラを差し込む方向から見た図です。
【配線の色】
1-黄 2-赤 3-黒 4-白

6

電源ケーブル端子をDCポートに接続し、電源スイッチをONにして下さい。
(レンズ保護用フィルムを剥がして下さい。)
液晶タッチパネルで本製品が正常に作動しているか確認します。

12. 後方カメラの取り付け手順

1

DCポートから電源ケーブル端子を取り外します。

2

取り付け位置を決定し、リアガラスをきれいにします。

3

ブラケットの接着テープ保護フィルムを取り外します。

4

視界の妨げにならない位置に取り付けます。

5

後方カメラと延長ケーブルを接続します。

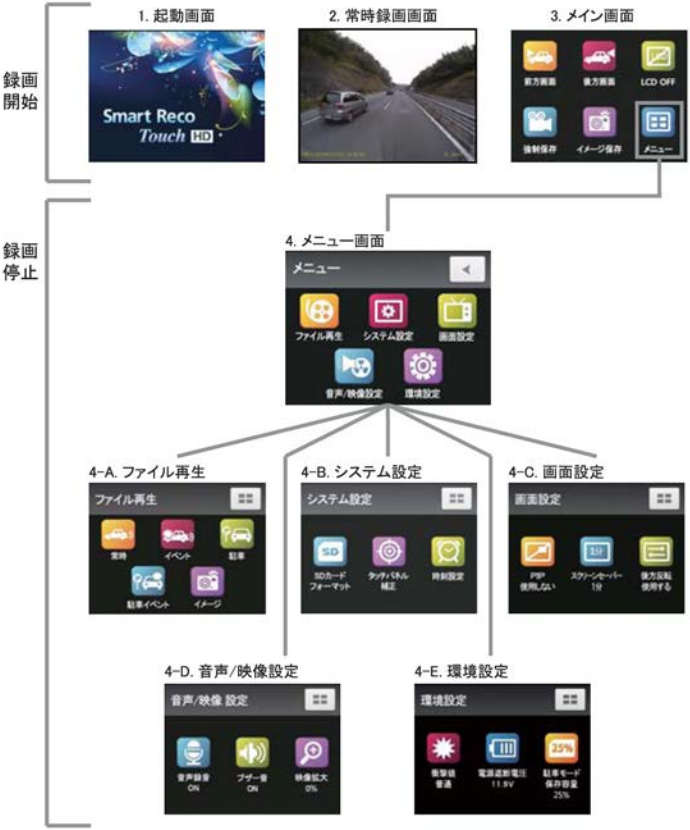
6

後方カメラの延長ケーブルを本体のCAMポートに接続します。

7

電源ケーブル端子をDCポートに接続し、電源スイッチをONにして下さい。
(レンズ保護用フィルムを剥がして下さい。)
液晶タッチパネルで本製品が正常に作動しているか確認します。

13. 液晶タッチパネル画面の説明（全体構造）



※写真はイメージです。実際の画面と異なる場合があります。

13. 液晶タッチパネル画面の説明

1. 起動画面

2. 常時録画画面

一定の時間液晶タッチパネルの操作がないとスクリーンセーバー（時計画面）に切替わります。スクリーンセーバー画面をタッチすると常時録画画面が表示されます。

スクリーンセーバーへの切替え時間は“使用しない、1分、2分”から選択できます。
スクリーンセーバーへの切替え時間の設定方法は『4-B. システム設定』をご参照下さい。
スクリーンセーバー上のアイコンに関する内容は「９. 製品機能の説明」をご参照下さい。
※写真はイメージです。実際の画面と異なる場合があります。

13. 液晶タッチパネル画面の説明

3. メイン画面

【注意】
メニュー画面操作中は録画できません。
◀ ボタンをタッチするとメイン画面に戻り、録画を再開します。

前方画面： 前方画面を表示します。
後方画面： 後方画面を表示します。
LCD ON/OFF：液晶タッチパネルをON/OFFします。
強制保存： 常時録画中、[強制保存]アイコンをタッチすると強制的にその時から前5秒・後15秒（合計20秒間）の映像をEventフォルダに保存します。
イメージ保存： 常時録画中、[イメージ保存]ボタンをタッチするとその時の画面をCaptureフォルダに保存します。
メニュー： メニュー画面へ移動します。

4. メニュー画面

ファイル再生： ファイル再生画面へ移動します。microSDカードに保存されているファイルを再生します。
システム設定： システム設定画面へ移動します。microSDカードのフォーマット、タッチパネル補正、時刻設定ができます。
画面設定： 画面設定画面へ移動します。PIP、起動画面、スクリーンセーバー、後方反転の設定ができます。
音声/映像設定: 音声/画像設定画面へ移動します。音声録音、ブザー音、映像拡大の設定ができます。
環境設定： 環境設定画面へ移動します。衝撃値、電源遮断、駐車モード保存容量の設定ができます。

13. 液晶タッチパネル画面の説明

4-A. ファイル再生

ファイル再生ではmicroSDカードに保存されているファイルを再生する事ができます。

常時 : Blackboxフォルダに保存されている常時保存ファイルを表示します。

イベント : Eventフォルダに保存されているイベント・強制保存ファイルを表示します。

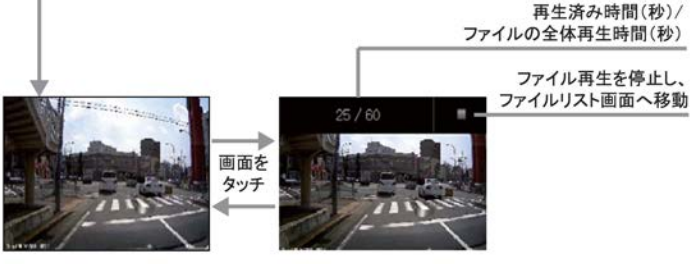
駐車 : Parkingフォルダに保存されている駐車時モーション感知ファイルを表示します。

駐車イベント : ParkingEventフォルダに保存されている駐車時衝撃感知ファイルを表示します。

イメージ : Captureフォルダに保存されているイメージファイルを表示します。

ボタンをタッチするとメニュー画面に戻ります。

ファイルリスト
ファイル再生画面で記録モードを選択するとファイルが保存された日時のリストが表示されます。日時をタッチすると再生を開始します。
ただし、正規ファイル以外は再生できません。



13. 液晶タッチパネル画面の説明

4-B. システム設定

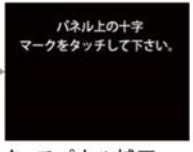
ボタンをタッチするとメニュー画面に戻ります。

システム設定画面へ移動

メニュー画面へ移動

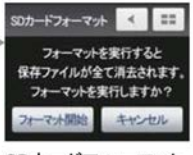
時刻設定

年は西暦の2桁が表示されます。年をタッチし続けると2012年～2020年(12～20)が繰り返し表示されるので、現在の年を選択して下さい。
設定した時刻を保存するためには ◄ ボタンか ☰ ボタンをタッチして下さい。



タッチパネル補正

左上→右上→右下→左下→中央の順に十字マークが表示されます。順番に十字マークをタッチするとタッチパネルの補正ができます。



SDカードフォーマット

[フォーマット開始]アイコンをタッチするとフォーマットを開始します。
フォーマットが完了すると自動的に再起動します。
※本体でフォーマットした場合、保存した設定内容は消去されません。

13. 液晶タッチパネル画面の説明

4-C. 画面設定

ボタンをタッチするとメニュー画面に戻ります。

PIP機能の設定
“PIP使用する”を選択すると本体の液晶タッチパネルで前方/後方の画面を同時に確認する事ができます。

スクリーンセーバーの設定
スクリーンセーバー(時計画面)への切替時間を設定します。設定した時間、液晶タッチパネルの操作がないとスクリーンセーバーに切替わります。“スクリーンセーバーを使用しない、1分後、2分後” から選択できます。

後方反転の設定
後方カメラの映像を左右反転する事ができます。
この機能を使用すると保存する映像と後方の映像が左右反転して見えます。

13. 液晶タッチパネル画面の説明

4-D. 音声/映像

ボタンをタッチするとメニュー画面に戻ります。

音声録音の設定
映像と同時に音声を保存します。
音声録音OFFに設定すると、音声は録音されず映像だけ保存します。

ブザー音の設定
ブザー音OFFに設定すると、起動時とエラー時のブザー音以外は鳴りません。

映像拡大の設定
保存する映像をズーム機能を使って拡大して保存する事ができます。
“0%、50%、100%”から選択できます。
（注意：映像拡大機能を使用すると、映像の画質が低下する恐れがあります。）

13. 液晶タッチパネル画面の説明

4-E. 環境設定

ボタンをタッチするとメニュー画面に戻ります。

衝撃値の設定
衝撃が起きた時、映像を記録するための感度を設定します。
“低感度、普通、高感度”から選択できます。

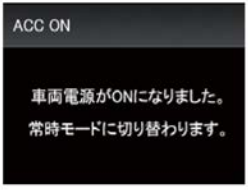
電源遮断の設定
駐車監視モード時の電源遮断方法を電圧または時間から選択できます。
遮断基準電圧は“11.5V、11.7V、11.9V、12.1V”から選択できます。
遮断基準時間は“6時間、12時間、24時間、48時間”から選択できです。
（但し、電圧が11.9Vまで下がった時点で電源が遮断されます）
設定を選択後、 ボタンをタッチすると変更を適用するため、自動的に再起動します。

駐車モード保存容量の設定
microSDカード内のParkingフォルダ保存容量を設定します。“0%、25%、50%”から選択できます。駐車モード保存容量を変更するためにはフォーマットが必要となります。設定を選択後、 ボタンをタッチするフォーマット画面が表示されます。フォーマットが完了すると自動的に再起動します。

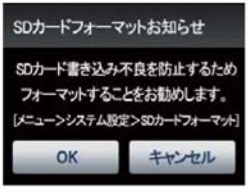
【注意】駐車モード保存容量0%はシガー電源専用の設定です。シガー電源をご使用でない方は絶対に選択しないで下さい。エラーや故障の原因となります。

13. 液晶タッチパネル画面の説明

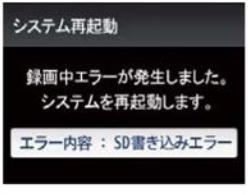
1. 常時録画モードでは車のエンジンを切ると約3秒後システムを再起動し、駐車モードに切り替わります。駐車モードでは液晶タッチパネルはOFFになります。液晶タッチパネルをONにするには車のエンジンをONにし、常時モードを起動させて下さい。



2. 駐車モードでエンジンをONにすると約3秒後システムを再起動し、常時録画モードに切り替わります。



3. 2週間に1回の間隔でフォーマットのお知らせ画面が表示されます。
[OK]アイコンをタッチするとフォーマット画面に移動します。[キャンセル]アイコンをタッチすると以前の動作に戻りますが、フォーマットする事をお勧めします。



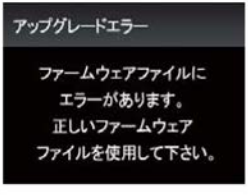
4. 本体やmicroSDカードにエラーが発生し、システムを再起動する場合、左記のような画面が表示されます。
エラーの内容はSD書き込みエラー、SD抜き取り、SDの容量不足、センサー異常などがあります。

13. 液晶タッチパネル画面の説明

5. 本体起動時、microSDカードが挿入されてない場合、左記の画面が表示されます。

6. microSDカードのエラーにより本体でフォーマットができない場合、左記の画面が表示されます。

7. 本体に後方カメラが接続されてない場合、又は認識できない場合、メイン画面で[後方画面]アイコンをタッチすると、左記の画面が表示されます。



8. ファームウェアのアップグレード中エラーが発生した場合、左記の画面が表示されますので、再度「29. ファームウェアをアップデートする」を行って下さい。

14. 専用ビューアーをインストールする

専用ビューアを使用するには、下記の作動環境が必要です。
インストールする前に、ご使用のコンピューターが作動環境を満たしているかご確認下さい。
[専用ビューアー 作動環境]
OS：Windows XP SP3(32bit), Windows Vista SP2（32bit）以上, Windows 7（32bit/64bit）
Intel(r) any dual core または AMD(r) any dual core
RAM: 2GB および ハードディスクの空き容量: 10GB
DirectX(r) 9.0c　　ディスプレイ解像度1280×720以上
※ 専用ビューアーの使用及びインストールは管理者権限が必要となります。

1. コンピューターの全てのアプリケーションを終了して下さい。

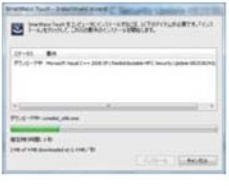
2. 付属のmicroSDカードをコンピューターに挿入し、microSDカード内の（SmartRecoTouch.exe）インストーラーをダブルクリックします。
以下の手順でインストールを行って下さい。

【注意】
“ユーザーアカウント制御”が出たとき、必ず“はい（Y）”を選択し変更を許可して下さい。

【注意】
“セキュリティの警告”が出たとき、必ず“実行（R）”を選択し変更を許可して下さい。

1

2



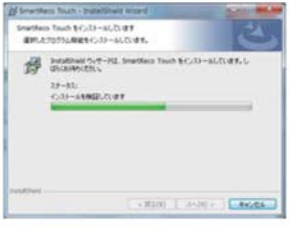
14. 専用ビューアーをインストールする

3

6

4

7



5

8

15. 専用ビューアーの実行及び削除

【SmartRecoTouchの実行】

[デスクトップ画面のショートカットアイコン]

1. デスクトップ上のショートカットアイコンまたは、スタート＞SmartReco Touch＞SmartReco Touchがインストールされている事を確認します。

[スタートからプログラムの登録画面]

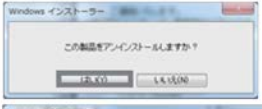
2. “SmartReco Touch”を実行します。

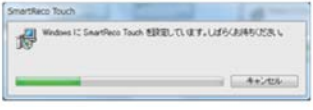
【SmartRecoTouchの削除】

【注意】
Windowsより警告が表示されますが、アンインストールプログラムであることを確認して実行を許可して下さい。
また、専用ビューアーをアンインストールするためには“ユーザーアカウント制御”が出たとき、必ず“はい(Y)”を選択し変更を許可して下さい。

[スタートからプログラムの登録画面]

1. スタート＞SmartReco Touch＞Uninstall SmartReco Touchをクリックします。





2. SmartReco Touchアンインストール画面が表示されます。
画面の指示に従ってアンインストールを完了して下さい。

16. 専用ビューアーメイン画面の説明

① プログラム情報

② 前方映像

③ 映像操作ボタン

④ 速度/加速度グラフ

⑤ 緯度/経度/日時

⑥ 運行記録

⑦ 本体の環境設定

⑧ プレイリスト

⑨ ファイルを開く/プレイリスト作成と
SDカードのフォーマット

⑩ Google連動地図

⑪ 後方映像(オプション)

⑫ 最小化/ビューアー終了

⑬ 前方・後方画像全画面表示

※ 音声OFF設定で録画し再生すると、前方モニターの右下に『M』と表示されます。

17. ビューアーボタンの説明

1. プログラム情報

専用ビューアーとファームウェアーのバージョン確認とアップデートができます。ファームウェアのバージョン情報を確認するためにはmicroSDカードをコンピューターに接続する必要があります。

2. 全画面表示

前方または後方の画像を全画面表示します。

3. メイン画面に復帰

全画面再生中、ビューアーメイン画面に戻ります。

4. 最小化

ステータスバーでビューアーを最小化します。

5. ビューアー終了

ビューアーを終了します。

6. 前のファイル/次のファイルを再生

映像再生中、前のファイル/次のファイルに変更して再生します。

7. 前のフレーム/次のフレーム表示

映像再生中、このボタンをクリックすると一時停止し、画面が前のフレーム/次のフレームに1秒単位で移動します。

17. ビューアーボタンの説明

8. 再生

プレイリストから選択したファイルを再生します。

9. 一時停止

再生中のファイルを一時停止します。
映像を再生している間は が に切り替わります。

10. 停止

再生中のファイルを停止します。

11. 画面プリント

ビューアーの再生画面を印刷します。

12. 画面キャプチャ

ビューアーの再生画面をJPGファイルで保存します。

13.

ボリューム

0～10段階でボリュームを調整します。

14.

再生スピード

再生速度を1/4、1/2、1、2、4倍速で調整する事ができます。

15. 明るさ

ビューアーの再生画面の明るさを調整する事ができます。

16.

速度/加速度グラフ

トグルボタンとなっており速度と加速度グラフを交互に表示します。
GPSモジュールが正しく電波を受信していない場合は表示されません。

17. ビューアーボタンの説明

17. 運行記録

運行記録を表示します。
GPSモジュールが正しく電波を受信していない場合は表示されません。

18. 本体の環境設定

本体の環境設定内容をmicroSDカードに保存します。
microSDカードをコンピューターに接続した後、設定する事ができます。

19. マップ表示/非表示

再生中の映像の運行位置情報をマップ上で表示します。
GPSモジュールが正しく電波を受信していない場合は表示されません。

20. ファイルを開く

映像ファイルを選択します。Shiftキーまたは Ctrlキーを押した状態で、ポインターでファイルをクリックすると複数のファイルを同時に選択する事ができます。

21. プレイリスト作成とSDカードのフォーマット

microSDカードに保存されている映像を再生するとき、全体または記録モード毎に区分してプレイリストに追加します。
microSDカードをフォーマットする他、エラーの修正及び不良セクタを回復する事ができます。
但し、フォーマットは映像を再生する前に行って下さい。映像を再生した場合はビューアーを一度終了し、ビューアーを再起動後フォーマットを行って下さい。

18. プレイリスト作成とSDカードのフォーマット(プレイリスト)

◆ プレイリストを作る:microSDカードに保存されている映像データを全て、または記録モード別に選択して再生する事ができます。

1. 本体からmicroSDカードを取り出し、コンピューターと接続します。
2. ビューアーのメイン画面でプレイリスト作成とSDカードのフォーマット ボタンをクリックするとmicroSDカードに保存されている全てのデータが検索され、プレイリストタブで確認できます。
3. SDHCドライブ: 映像が保存されたmicroSDのドライブを選択するときに使います。
4. 記録モード選択: 再生する映像の種類を選択する事ができます。(全て、常時ファイル、イベントファイル、駐車ファイル、駐車イベントファイルから選択する事ができます。)
5. 全て選択、全ての選択解除、選択反転:リストからファイルを選択、解除、選択と解除を転換する事ができます。
6. 実行: リストに選択されているデータをメイン画面のファイルリストウィンドウに移動し再生します。
7. キャンセル: プレイリスト作成及びSDカードのフォーマットウィンドウを終了します。

18. プレイリスト作成とSDカードのフォーマット(SDフォーマット)

◆ microSDカードをフォーマットする:SDフォーマットタブを選択するとmicroSDカードをフォーマットする事ができます。

1 フォーマットドライブ:microSDカードが入っているドライブの位置を確認します。

2 [フォーマット開始]ボタンをクリックするとフォーマットをOKまたはキャンセルする案内ウィンドウが出ます。

3 [OK]ボタンをクリックするとSDフォーマットのウィンドウが出ます。microSDカードの保存容量、ファイルシステムの種類、現在の割り当て容量、フォーマット後の割り当て容量が表示され、SDの名前は自動的に"SmartRecoHD"になります。
[OK]ボタンをクリックするとフォーマットが始まります。
Windowsのフォーマットも使用できますが、ファイルシステムにFAT32を選択し、アロケーションユニットサイズを32KBにする必要があり、本製品の設定値も初期化されます。専用ビューアでフォーマットする事をお勧めします。

フォーマット後の割り当て容量とは、コンピューターで一般フォーマットをすると"アロケーションユニットサイズ"と表示されるもので、必ず32KBを選択して下さい。

4 フォーマットを完了するとフォーマット完了を知らせるウィンドウが出ます。
[OK]ボタンをクリックし、[閉じる]ボタンをクリックするとmicroSDカードのフォーマット完了です。

18. プレイリスト作成とSDカードのフォーマット(SD検査と復旧)

◆ SD検査と復旧:SD検査と復旧タブを選択するとmicroSDカードのエラーを修正したり不良セクタを探して復旧する事ができます。
他のアプリケーションでmicroSDカードを使用している場合、全て終了してから使用して下さい。

[SD検査修復ーエラー検出修正画面]
"☑SDのエラーを修正します。"にチェックが入っている事を確認します。(初期状態でチェックは入っています)"スキャン開始"ボタンをクリックします。"microSDカードのエラー検査後、検査及び修復結果を表示します。

エラーが修復できない場合"フォーマットして下さい"というポップアップが出ます。
microSDカードをフォーマットしてから使用して下さい。

[SD検査修復ーエラー検出修正画面]
"☑SDの不良セクタを検出し修正します。"にチェックが入っている事を確認します。(初期状態でチェックは入っていません)

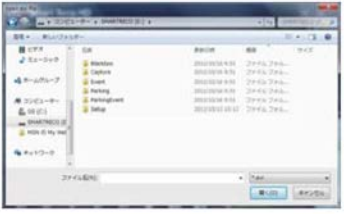
"スキャン開始"ボタンをクリックします。
microSDカードのエラー検査後、検査及び修復結果を表示します。

エラーが修復できない場合"フォーマットして下さい"というポップアップが出ます。
microSDカードをフォーマットしてから使用して下さい。

【注意】 この検査、修復には時間がかかります。

19. ファイルを指定して再生する

◆ ファイルを指定して再生する：ファイルを指定して開くと自動的にファイルを読み込みながら再生が始まります。
複数の特定ファイルを再生したい場合は、リストからファイルを選択した後、再生ボタンをクリックします。
※コンピューター本体に保存されたファイルを再生する場合も同様の操作を行って下さい。



1. 本体からmicroSDカードを取り出し、コンピューターと接続します。

2. ビューアーのメイン画面でファイルを開く ボタンをクリックします。

3. 再生する映像が保存されているドライブを選択した後、フォルダの中からファイルを一つ選択し、[開く]ボタンをクリックします。
複数のファイルを選択したい場合は、CtrlキーまたはShiftキーを押した状態でファイルをクリックすると複数のファイルを指定する事ができます。
(a) Blackboxフォルダ：常時保存フォルダで30分ごとの下位フォルダが作成され、その中にファイルが保存されます。
(b) Captureフォルダ：イメージファイルが保存されるフォルダ
(c) Eventフォルダ：走行中の衝撃感知及び強制保存時にファイルが保存されるフォルダ
(d) Parkingフォルダ：駐車時モーション感知ファイルが保存されるフォルダ
(e) ParkingEventフォルダ：駐車時衝撃感知ファイルが保存されるフォルダ

4. メイン画面のリストでファイルを選択して再生 ボタンをクリックするかリスト項目をダブルクリックします。

【注意】
保存された2チャンネル（前方＋後方）の映像は一般の動画再生プログラムでは前方の映像だけが再生される可能性があります。後方の映像まで確認する場合は必ず専用ビューアーを設置し再生して下さい。

20. 本体の環境設定(環境設定)

◆ 本体の環境設定:本体の環境設定、時刻設定、画面設定、音声/映像設定、ドライバー設定を変更する事ができます。

※上記画面が初期設定値となります。

1. 本体からmicroSDカードを取り出し、コンピューターと接続します。

2. ビューアーのメイン画面で、本体の環境設定 ボタンをクリックします。

3. 衝撃感度設定:衝撃が起きた時、イベントを記録するための感度を設定します。
簡単設定と手動設定のいずれかを選択します。簡単設定では高感度、普通、低感度の3段階から選択できます。手動設定の場合、前後・左右・上下方向段階値が大きいほど感度が低く、小さいほど感度が高くなります。
(1段階～10段階から選択可能)

4. 電源遮断設定:駐車監視モード時の電源遮断方法を電圧または時間から選択する事ができます。遮断基準電圧は"11.5V、11.7V、11.9V、12.1V"の4段階から選択できます。遮断基準時間は"6時間、12時間、24時間、48時間"の4段階から選択できます。
(時間設定の場合、電圧が11.9Vまで下がった時点で電源が遮断されます。)
初期設定は12時間となっております。お客様の使用状況に合わせて変更して下さい。

5. 駐車モードSD使用容量:microSDカード内のParkingフォルダ保存容量を設定します。(0%、25%、50%から選択可能)
【注意】駐車モードSD使用容量0%はシガー電源専用の設定です。シガー電源をご使用でない方は絶対に選択しないで下さい。エラーや故障の原因となります。

6. 駐車モードモーション感度:駐車時モーションを感知した時、記録するための感度を設定します。高感度、普通、低感度の3段階から選択できます。

20. 本体の環境設定(時刻設定)

◆ 本体の環境設定:本体の環境設定、時刻設定、画面設定、音声/映像設定、ドライバー設定を変更する事ができます。

※上記画面が初期設定値となります。

1. 本体からmicroSDカードを取り出し、コンピューターと接続します。

2. ビューアーのメイン画面で、本体の環境設定 ボタンをクリックし、時刻設定タブを選択します。

3. 時刻設定: 本体にmicroSDカードを挿入し、電源を入れるとビューアーに入力(保存)した時間が反映されます。
GPSモジュールが正しく電波を受信している場合は自動設定となります。

4. 標準時刻設定: 国別標準時間を設定します。基本値はコンピューターの設定時間を読み込みます。

5. 設定値を確認し、[保存]ボタンをクリックします。

【GPSアンテナが使用できないときの時刻合わせ】
本製品はGPS情報により時刻合わせを行なっていますが、GPSが使用できない時は、microSDカードに保存した時間を設定する事ができます。

ご使用のコンピューターの"日付と時刻の登録情報"で時刻を変更し、microSDカードを本体に入れて時刻設定を行う時間に合わせると本体の時刻と実際の時刻の差を縮める事ができます。
コンピューターの時刻合わせについては、ご使用のコンピューターの取扱説明書をご確認下さい。

20. 本体の環境設定(画面設定)

◆ 本体の環境設定:本体の環境設定、時刻設定、画面設定、音声/映像設定、ドライバー設定を変更する事ができます。

※上記画面が初期設定値となります。

1. 本体からmicroSDカードを取り出し、コンピューターと接続します。
2. ビューアーのメイン画面で、本体の環境設定 ボタンをクリックし、画面設定タブを選択します。
3. PIPモード:前方/後方の映像を液晶タッチパネル画面で同時に確認できる機能です。
4. スクリーンセーバー:常時録画中、一定の時間液晶タッチパネルの操作がないとスクリーンセーバーに切り替わります。スクリーンセーバー画面では現在の時刻、GPS受信状態、音声録音使用状態、常時録画/イベント録画の録画状況を確認する事ができます。
   スクリーンセーバーは"使用しない、1分後切換、2分後切換"から選択できます。
   スクリーンセーバー画面をタッチすると、常時録画画面が表示されます。
5. 後方反転:後方カメラの映像を左右反転する事ができます。この機能を使用すると保存する映像とAV-outの出力映像が左右反転して見えます。

20. 本体の環境設定(音声/映像設定)

◆ 本体の環境設定:本体の環境設定、時刻設定、画面設定、音声/映像設定、ドライバー設定を変更する事ができます。

※上記画面が初期設定値となります。

1. 本体からmicroSDカードを取り出し、コンピューターと接続します。

2. ビューアーのメイン画面で、本体の環境設定 ボタンをクリックし、音声/映像設定タブを選択します。

3. 音声録音:本製品は映像と同時に音声も保存します。
音声録音OFFに設定すると音声は録音されず、映像だけ保存します。

4. ブザー音:ブザー音OFFに設定すると、起動時とエラー時のブザー音以外は鳴りません。

5. 映像拡大:保存する映像をズーム機能を使って拡大して保存する事ができます。
"50%、100%、使用しない"から選択する事ができます。
【注意】映像拡大機能を使用すると、映像の画質が低下する恐れがあります。

6. 後方反転:後方カメラの映像を左右反転する事ができます。この機能を使用すると保存する映像とAV-outの出力映像が左右反転して見えます。

7. 映像画質:常時モードと駐車監視モードで保存される映像の画質を高画質/低画質の2段階から選択する事ができます。画質が高くなるほどファイルの容量が大きくなり、保存できる時間が減ります。
【注意】映像画質を変更するときは、microSDカードをフォーマットして下さい。

20. 本体の環境設定(ドライバー設定)

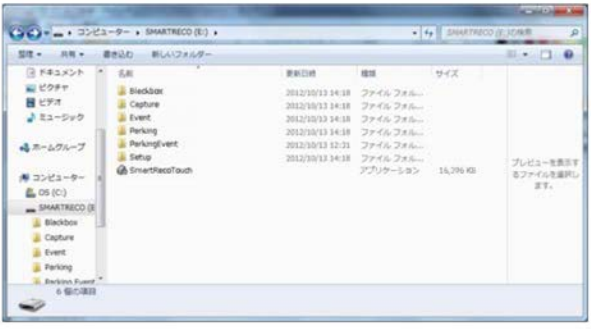
◆ 本体の環境設定:本体の環境設定、時刻設定、音声/映像設定、ドライバー設定を変更する事ができます。

1. 本体からmicroSDカードを取り出し、コンピューターと接続します。
2. ビューアーのメイン画面で、本体の環境設定 ボタンをクリックし、ドライバー設定タブを選択します。
3. ドライバー名、車両番号を入力しmicroSDカードに保存します。
4. ビューアーを再起動すると、運行記録で入力したドライバー名および車両番号を確認する事ができます。

◆ フォーマット後の環境設定について

	環境設定
コンピューター	初期設定値に戻る
専用ビューアー	フォーマット前と同じ
本体	フォーマット前と同じ

21. microSDカードの保存データ



1. Blackboxフォルダ： 常時保存フォルダです。
   保存時間別のフォルダを作成し、1分単位でファイルを保存します。
   30分ごとの下位フォルダが作成され、その中にファイルが保存されます。
   ファイルの作成例）mdr_20121013_073025-I2.avi：2012年10月13日7時30分25秒に
   保存した2チャンネルの常時映像ファイル

2. Captureフォルダ：常時録画中、液晶タッチパネルのメイン画面で[イメージ保存]アイコンをタッチすると前方/後方の画像（静止画）をJPGファイルで保存します。
   イメージファイルはmicroSDカードの容量・チャンネル数に関係なく最大400個まで保存できます。401番目のファイルを保存する場合は1番目のファイルを削除し保存します。

3. Eventフォルダ： 常時保存中発生した衝撃保存、強制保存などのイベントファイルを保存します。イベント発生の前5秒・後10秒、合計20秒間の映像を保存します。
   ファイルの作成例）mdr_20121013_073345-E2.avi：2012年10月13日7時33分45秒に
   保存した2チャンネルのイベント映像ファイル

4. Parkingフォルダ： 駐車監視中、モーションを感知したときの映像を保存します。
   モーション感知の前5秒・後10秒、合計20秒間の映像を保存します。
   ファイルの作成例）mdr_20121013_231545-P2.avi：2012年10月13日23時15分45秒に
   保存した2チャンネルの駐車モーション感知映像ファイル

5. ParkingEventフォルダ： 駐車監視中、衝撃を感知したときの映像を保存します。
   衝撃感知の前5秒・後10秒、合計20秒間の映像を保存します。
   ファイルの作成例）mdr_20121013_231545-A2.avi：2012年10月13日23時15分45秒に
   保存した2チャンネルの駐車衝撃感知映像ファイル

6. Setupフォルダ： 本体の環境設定フォルダです。環境設定と運行記録情報を保存します。

7. SmartReco Touch：専用ビューアーのインストール用プログラムです。

22. 運行記録

◆ 運行記録は走行時10秒ごとに記録し、microSDカードのSetupフォルダの中に、datファイル形式で保存されます。一つのファイルには最大1週間の運行記録が保存され、日付順に運行記録リストが表示されます。最大5ファイルまで保存可能です。
（ただし、GPSモジュールが正しく電波を受信している場合に限ります。）

1. 本体からmicroSDカードを取り出し、コンピューターに接続します。
2. 専用ビューアーを起動します。
3. ビューアーのメイン画面の運行記録 ボタンをクリックすると、運行記録モードが表示されます。
4. 上図のファイルを開く ボタンをクリックすると、microSDカード内のSetupフォルダにあるdatファイルをリストで見る事ができ、ファイルを選択すると、日付別に運行記録のリストを見る事ができます。
5. リストから目的のファイルをクリックすると、右側に移動経路が表示されます。

※1 走行時間には停車時間は含まれません。停車時間には、駐車時間は含まれません。
※2 運行記録は駐車監視モードでは記録されません。
※3 地図の表示にはインターネットに接続できる環境が必要です。

22. 運行記録

◆ 下記の表は運行記録ウィンドウのアイコンの説明です。

アイコン	説明
	microSDカードのsetupフォルダの中の運行記録ファイル(.dat)を開きます。
	運行記録の画面をキャプチャしてjpgファイルとして保存します。（保存先：C:¥BlackBox¥CAPTURE）
	運行記録の画面を印刷します。
	移動経路の再生中に走行日と時刻を表示します。
	リストから選択した項目を移動経路順に再生します。
	移動経路再生中、移動した経路にマーカーを表示します。
	移動経路再生を1/2、1、2、4 倍速で再生します。
	運行記録ウィンドウを終了します。

23. 全画面表示

[ビューアーメイン画面]

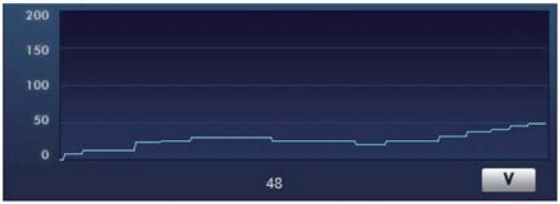
1. 全画面モード：ビューアー上部にある全画面モード ボタンをクリックすると、全画面モードに切替わります。

[全画面モード]

1. 画素サイズ表示：全画面モード表示時に画素サイズ表示 ボタンをクリックすると、録画した解像度に合わせたサイズで再生します。（前方1280×720、後方640×480）
   画素サイズ表示中に最大画面表示 ボタンをクリックすると全画面モードに戻ります。
2. 戻る：ビューアーメイン画面に戻る時に使用します。
3. 終了：全画面モードで終了 ボタンをクリックすると、ビューアープログラムを終了します。

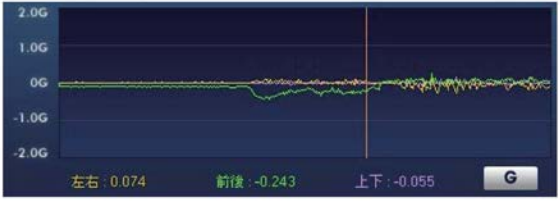
24. 録画ファイル情報表示

[速度グラフ]



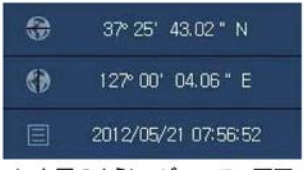
✓ 上図のように、ビューアー画面で速度グラフを確認する事ができます。
GPSモジュールが正しく電波を受信していない場合は表示されません。

[加速度グラフ]



✓ 上図のように、ビューアー画面で加速度の情報を確認する事ができます。

[緯度/経度/記録日時]



✓ 上図のように、ビューアー画面で緯度、経度、記録日時の情報を確認する事ができます。緯度、経度はGPSモジュールが正しく電波を受信していない場合は表示されません。

25. 保存可能ファイル数（2チャンネル）

◆ BlackBoxフォルダ、Eventフォルダ、Parkingフォルダ、ParkingEventフォルダが各モード別に設定された容量で保存します。
microSDカードの容量によりファイルの数は異なります。

【参考】

1. ファイルを保存するとき、残っているメモリーが各モード別に容量の5%以下になると一番古いファイルを削除して新しいファイルを保存します。
2. モード別ファイルサイズ
   -映像画質設定が"高画質"の場合：
   常時ファイル（1分、約62MB）、ｲﾍﾞﾝﾄファイル（20秒、約21MB）、駐車(ｲﾍﾞﾝﾄ)ファイル（20秒、約14MB）
   -映像画質設定が"低画質"の場合：
   常時ファイル（1分、約40MB）、ｲﾍﾞﾝﾄファイル（20秒、約14MB）、駐車(ｲﾍﾞﾝﾄ)ファイル（20秒、約9MB）

【注意】

1. 駐車監視モードで撮影する映像によっては、モーションを感知した瞬間の映像が止まったり、切れる現象が起こるときがあります。
2. ParkingEventフォルダの保存容量は使用するmicroSDカードの容量にかかわらず500MBまでです。
3. microSDカードは純正microSDカードをご使用下さい。純正以外のmicroSDカードの使用により発生する本体の不良に関しては保証の対象になりませんのでご注意下さい。
4. 駐車監視モードではモーション又は衝撃を感知時のみ録画するので、駐車環境によって録画されるファイルの個数は異なります。但し、保存できるファイルの数は専用ビューアーで設定した駐車監視モードのSD使用量（0%、25%、50%）により決まります。
   ※ 本製品は32GBのmicroSDカードが標準装備となります。

① 常時モード-高画質、駐車監視モード 0%で保存した場合

※駐車監視モード0%はシガー電源使用時に限る。

保存容量	常時（1file 60s）			イベント（1file 20s）			駐車監視（1file 20s）			駐車イベント（1file 20s）		
	最少ファイル数（前+後）	最大保存時間（分）	容量（MB）	最少ファイル数（前+後）	最大保存時間（分）	容量（MB）	最少ファイル数（前+後）	最大保存時間（分）	容量（MB）	最少ファイル数（前+後）	最大保存時間（分）	容量（MB）
8 GB	110	110	6796	24	8	500	0	0	0	0	0	0
16 GB	220	220	13592	48	16	1000	0	0	0	0	0	0
32 GB	450	450	27684	72	24	1500	0	0	0	0	0	0

25. 保存可能ファイル数（2チャンネル）

② 常時モード-高画質、駐車モード-低画質、
駐車監視モード 25%で保存した場合

保存容量	常時 (1file 60s)			イベント (1file 20s)			駐車監視 (1file 20s)			駐車イベント (1file 20s)		
	最少ファイル数（前＋後）	最大保存時間（分）	容量（MB）	最少ファイル数（前＋後）	最大保存時間（分）	容量（MB）	最少ファイル数（前＋後）	最大保存時間（分）	容量（MB）	最少ファイル数（前＋後）	最大保存時間（分）	容量（MB）
8 GB	80	80	4972	24	8	500	147	49	1324	54	18	500
16 GB	160	160	9944	48	16	1000	352	117	3148	54	18	500
32 GB	328	328	20388	72	24	1500	756	252	6796	54	18	500

③ 常時モード-高画質、駐車モード-低画質、
駐車監視モード 50%で保存した場合

保存容量	常時 (1file 60s)			イベント (1file 20s)			駐車監視 (1file 20s)			駐車イベント (1file 20s)		
	最少ファイル数（前＋後）	最大保存時間（分）	容量（MB）	最少ファイル数（前＋後）	最大保存時間（分）	容量（MB）	最少ファイル数（前＋後）	最大保存時間（分）	容量（MB）	最少ファイル数（前＋後）	最大保存時間（分）	容量（MB）
8 GB	50	50	3148	24	8	500	352	117	3148	54	18	500
16 GB	100	100	6296	48	16	1000	756	252	6796	54	18	500
32 GB	210	210	13092	72	24	1500	1566	522	14092	54	18	500

26. 保存可能ファイル数（1チャンネル）

◆ BlackBoxフォルダ、Eventフォルダ、Parkingフォルダ、ParkingEventフォルダが各モード別に設定された容量で保存します。
microSDカードの容量によりファイルの数は異なります。

【参考】

1. ファイルを保存するとき、残っているメモリーが各モード別に容量の5%以下になると一番古いファイルを削除して新しいファイルを保存します。
2. モード別ファイルサイズ
   -映像画質設定が"高画質"の場合：
   常時ファイル（1分、約62MB）、イベントファイル（20秒、約21MB）、駐車（イベント）ファイル（20秒、約14MB）
   -映像画質設定が"低画質"の場合：
   常時ファイル（1分、約40MB）、イベントファイル（20秒、約14MB）、駐車（イベント）ファイル（20秒、約9MB）

【注意】

1. 駐車監視モードで撮影する映像によっては、モーションを感知した瞬間の映像が止まったり、切れる現象が起こるときがあります。
2. ParkingEventフォルダの保存容量は使用するmicroSDカードの容量にかかわらず500MBまでです。
3. microSDカードは純正microSDカードをご使用下さい。純正以外のmicroSDカードの使用により発生する本体の不良に関しては保証の対象になりませんのでご注意下さい。
4. 駐車監視モードではモーション又は衝撃を感知時のみ録画するので、駐車環境によって録画されるファイルの個数は異なります。但し、保存できるファイルの数は専用ビューアーで設定した駐車監視モードのSD使用量（0%、25%、50%）により決まります。
   ※ 本製品は32GBのmicroSDカードが標準装備となります。

① 常時モード-高画質、駐車監視モード 0%で保存した場合

※駐車監視モード0%はシガー電源使用時に限る。

保存容量	常時（1file 60s）			イベント（1file 20s）			駐車監視（1file 20s）			駐車イベント（1file 20s）		
	最少ファイル数	最大保存時間（分）	容量（MB）	最少ファイル数	最大保存時間（分）	容量（MB）	最少ファイル数	最大保存時間（分）	容量（MB）	最少ファイル数	最大保存時間（分）	容量（MB）
8 GB	110	110	6796	24	8	500	0	0	0	0	0	0
16 GB	220	220	13592	48	16	1000	0	0	0	0	0	0
32 GB	450	450	27684	72	24	1500	0	0	0	0	0	0

26. 保存可能ファイル数（1チャンネル）

② 常時モード-高画質、駐車モード-低画質、
駐車監視モード 25%で保存した場合

保存容量	常時 (1file 60s)			イベント (1file 20s)			駐車監視 (1file 20s)			駐車イベント (1file 20s)		
	最少ファイル数	最大保存時間(分)	容量(MB)	最少ファイル数	最大保存時間(分)	容量(MB)	最少ファイル数	最大保存時間(分)	容量(MB)	最少ファイル数	最大保存時間(分)	容量(MB)
8 GB	80	80	4972	24	8	500	147	49	1324	54	18	500
16 GB	160	160	9944	48	16	1000	352	117	3148	54	18	500
32 GB	328	328	20388	72	24	1500	756	252	6796	54	18	500

③ 常時モード-高画質、駐車モード-低画質、
駐車監視モード 50%で保存した場合

保存容量	常時 (1file 60s)			イベント (1file 20s)			駐車監視 (1file 20s)			駐車イベント (1file 20s)		
	最少ファイル数	最大保存時間(分)	容量(MB)	最少ファイル数	最大保存時間(分)	容量(MB)	最少ファイル数	最大保存時間(分)	容量(MB)	最少ファイル数	最大保存時間(分)	容量(MB)
8 GB	50	50	3148	24	8	500	352	117	3148	54	18	500
16 GB	100	100	6296	48	16	1000	756	252	6796	54	18	500
32 GB	210	210	13092	72	24	1500	1566	522	14092	54	18	500

27. 保存可能ファイル数(最大録画時間)

◆ 映像画質設定 - 常時モード : 低画質、駐車モード : 低画質、
32GBmicroSDカードを使用した場合の保存可能ファイル数です。

① 1チャンネルの場合

駐車監視	常時 (1file 60s)			イベント (1file 20s)			駐車監視 (1file 20s)			駐車イベント (1file 20s)		
	最少ファイル数	最大保存時間(分)	容量(MB)	最少ファイル数	最大保存時間(分)	容量(MB)	最少ファイル数	最大保存時間(分)	容量(MB)	最少ファイル数	最大保存時間(分)	容量(MB)
0 %	693	693	27684	108	36	1500	0	0	0	0	0	0
25 %	510	510	20388	108	36	1500	756	252	6796	54	18	500
50 %	328	328	13092	108	36	1500	1566	522	14092	54	18	500

② 2チャンネルの場合

駐車監視	常時 (1file 60s)			イベント (1file 20s)			駐車監視 (1file 20s)			駐車イベント (1file 20s)		
	最少ファイル数(前+後)	最大保存時間(分)	容量(MB)	最少ファイル数(前+後)	最大保存時間(分)	容量(MB)	最少ファイル数(前+後)	最大保存時間(分)	容量(MB)	最少ファイル数(前+後)	最大保存時間(分)	容量(MB)
0 %	693	693	27684	108	36	1500	0	0	0	0	0	0
25 %	510	510	20388	108	36	1500	756	252	6796	54	18	500
50 %	328	328	13092	108	36	1500	1566	522	14092	54	18	500

28. 専用ビューアーのアップデート

◆ビューアーのメイン画面でプログラム情報 ボタンをクリックすると専用ビューアーとファームウェアのバージョン確認とアップデートをする事ができます。

※ 専用ビューアーをアップデートするためにはインターネットに接続する必要があります。
専用ビューアーをダウンロードするためには“ユーザーアカウント制御”が出たとき、必ず“はい(Y)”を選択し変更を許可して下さい。

1

本体からmicroSDカードを取り出し、コンピューターと接続します。
ビューアーのメイン画面でプログラム情報 ボタンをクリックします。

PCビューアーのバージョンは現在コンピューターに設置されているビューアーのバージョンです。
[アップデート]ボタンをクリックすると最新ビューアーのバージョンを確認する事ができます。

2

“ダウンロードビューアーのバージョン”を確認し、アップデートを行う場合は[OK]ボタンを、行わない場合は[キャンセル]ボタンをクリックして下さい。
[OK]ボタンをクリックするとビューアーセットアップを開始します。

3

4

5

セットアップ完了のウィンドウで[完了]ボタンをクリックするとアップデートしたビューアーのメイン画面が表示されます。

29. ファームウェアのアップデート

◆ビューアーのメイン画面でプログラム情報 ボタンをクリックすると専用ビューアーとファームウェアのバージョン確認とアップデートをする事ができます。

※ファームウェアをアップデートするためにはインターネットに接続する必要があります。
ファームウェアをダウンロードするためには“ユーザーアカウント制御”が出たとき、必ず“はい(Y)”選択し変更を許可して下さい。

※ アップデートをすると、microSDカードがフォーマットされます。
大切な映像はバックアップ保存してからアップデートを行って下さい。

1

本体からmicroSDカードを取り出し、コンピューターと接続します。
ビューアーのメイン画面でプログラム情報 ボタンをクリックします。

ファームウェアのバージョンは現在の本体ファームウェアのバージョンです。
[アップデート]ボタンをクリックするとフォーマットに関する案内が表示されます。

2

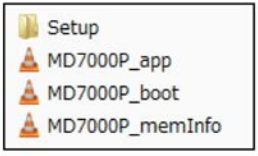
[OK]ボタンをクリックするとSDフォーマットのウィンドが表示されます。
フォーマットの手順は「18. プレイリスト作成とSDカードのフォーマット(SDフォーマット)」をご参照下さい。

3

フォーマットが完了したらSDフォーマットウィンドウを終了して下さい。
SDフォーマットウィンドウを終了すると自動的にファームウェアのダウンロードを開始します。

29. ファームウェアのアップデート

❹



アップデートが完了するとmicroSDカードには左記のようなファイルが保存されます。

コンピューターからmicroSDカードを取り出し、本体に挿入して下さい。
※ microSDカードの挿入の向きに注意して下さい。
本体の電源がOFFの時にmicroSDカードの抜き挿しを行って下さい。

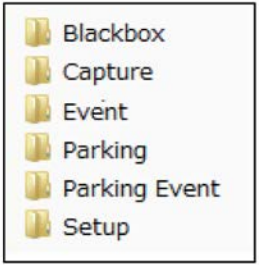
本体の電源をONにし、エンジンを始動して本体を起動させます。

本体が起動すると自動的にアップデートを開始します。

アップデートを完了すると自動的に再起動します。

【注意】
ファームウェアのアップデート中は、絶対に車のエンジンを切らないで下さい。
ファームウェアのアップデート中に車のエンジンを切るとmicroSDカードが破損するだけでなく、本製品が故障する恐れがあります。

❺



アップデート完了後には❹のアップデートファイルは消去され、❺のようなフォルダが自動的に作成されます。

30. 製品仕様

◆ 電源：	DC 12V/24V
◆ 消費電力：	最大4W（2チャンネル使用時）
◆ 前方カメラ：	300万画素/CMOSカラーセンサー
◆ 後方カメラ：	130万画素/CMOSカラーセンサー 長さ：1m（延長ケーブルの長さ：6m）
◆ 前方カメラ画角：	100度（水平）・53.5度（垂直）・120度（対角）
◆ 後方カメラ画角：	96度（水平）・72度（垂直）・120度（対角）
◆ 保存フレーム：	最大30 fps（1チャンネル使用時） 最大15 fps（2チャンネル使用時）
◆ 有効画像サイズ：	前方カメラ：1280 x 720 / 後方カメラ：640 x 480
◆ オーディオ：	内蔵型マイク
◆ 保存媒体：	純正microSDカード(最大32GBまで)
◆ 外形寸法：	前方カメラ：82 x 75 x 35 mm 後方カメラ：42 x 33 x 28 mm
◆ 重量：	前方カメラ：95g(microSDカード含む) 後方カメラ：60g
◆ 動作温度：	−20℃ ～70℃
◆ 耐冷耐熱温度：	−40℃ ～85℃
◆ 電源自動遮断機能装備	
◆ ビューアー対応OS：	Windows XP SP3, Windows Vista SP2以上, Windows 7 32bit/64bit Intel(r) any dual core またはAMD(r) any dual core RAM: 2GB ハードディスクの空き容量: 10GB DirectX(r) 9.0c ディスプレイ解像度1280×720以上

純正microSDカードのご購入はスマートレコのホームページまたはインフォメーションセンターまで

URL：http://www.smartreco.jp/
TEL：0561-67-5511

ソフトウェアダウンロードパスワード　smareco

※ 本製品並びに製品仕様は品質向上のために予告なしに変更または修正される場合があります。
※ SMARTRECOは、株式会社ホワイトハウスの登録商標です。
※ 本書に記載されている製品名その他のブランド名は、該当する各社の標章、商標または登録商標です。

31. よくあるご質問

Q 本体が再起動を繰り返します。/ 青色のLEDが点灯したまま消えません。

A microSDカードに異常があると再起動を繰り返す場合があります。専用ビューアーでmicroSDカードをフォーマットして下さい。フォーマット後も症状が改善しない場合は、お手数ですがスマートレコインフォメーションセンターまでご連絡下さい。

※ フォーマットを行う前にはお車に身に覚えのない傷や凹みが無いかをご確認下さい。傷があった場合はフォーマットせず、専用ビューアーを使用して駐車監視映像をご確認下さい。駐車中にいたずらや当て逃げに合った可能性が有ります。

Q 本体のランプがつかなくなりました。駐車監視スイッチのランプはついています。

A microSDカードに異常があると本体のランプが点灯しない場合があります。専用ビューアーでmicroSDカードをフォーマットして下さい。フォーマット後も症状が改善しない場合はスマートレコインフォーメーションセンターまでご連絡下さい。

Q ビューアープログラムが消えてしまいました。どうすればいいですか？

A 下記のSmartRecoダウンロード専用ページからダウンロードする事ができます。
ダウンロードページURL :http://www.whitehouse.co.jp/smartreco/download/
ダウンロードパスワード :smareco

Q ビューアーをインストールしましたが、起動しません。

A ご使用になられるコンピューターの仕様を確認する必要があります。
弊社のホームページに詳しい対処方法が掲載されています。
下記のページをご確認下さい。
http://www.whitehouse.co.jp/smartreco/faq

Q イベントファイルは上書きされませんか?

A イベントファイルも保存できる最大容量が決まっています。
その容量を超えると一番古いファイルから上書きされます。

その他、ご質問等がございましたら、
下記のホームページまたはインフォメーションセンターまでお問い合わせ下さい。
URL : http://www.smartreco.jp/
TEL : 0561-67-5511

保証書

[製品保証規定]

1. 保証期間は本製品を購入した日から1年間です。
2. 取扱説明書に従った正常な使用で故障した場合は、無償で修理又は同等品との交換を行います。
   その際には、本保証書と販売店が発行した購入証明書（レシート等）が必要となります。
3. 次のような場合は保証期間内においても有償修理またはお取扱いできない場合がございます。
   - お客様の取扱い不注意による故障。
   - 本製品を不適切に使用または取扱ったことによる故障。
   - お買い上げ後の輸送や移動時の落下や損傷など。
   - 地震、落雷、風水害、火災、その他の天変地異及び交通事故等による故障及び損傷。
   - 接続している他の機器、及び不適切なカードの使用に起因して本製品に生じた故障及び損傷。
   - 弊社指定のサービス店以外で修理・改造・分解が行われた場合。
   - 消耗品
   - 本保証書を提示いただけない場合。購入証明書を提示いただけない場合。
   - 修理依頼事項の不具合内容が確認できない場合は基本点検料をご請求させて頂く場合がございます。
   - 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
   - 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管して下さい。

【輸入販売元】
株式会社ホワイトハウス
〒465-0024 愛知県名古屋市名東区本郷3-139
URL: http://www.whitehouse.co.jp/

【インフォメーションセンター】
0561-67-5511
受付時間10:00～18:30
（水曜日・弊社指定休日を除く）
URL: http://www.smartreco.jp/

製品保証書

製品名	スマートレコTouch HD	
製造番号		
保証期間	購入日　　年　　月　　日から　1年間	
お客様	お名前	連絡先
	住所	
販売店		

カーライフのあらゆるシーンを、スマートに記録。

Smart Reco

New Standard of Smart Car Life

WHITE HOUSE good man, good drive

発売元 株式会社ホワイトハウス
本社 〒465-0024 名古屋市名東区本郷3-139
スマートレコ インフォメーションセンター Tel.0561-67-5511
www.smartreco.jp MADE IN KOREA